

# 『算数授業研究』誌 定期購読者の方を募っています



筑波大学附属小学校算数部 企画・編集

授業を語るには平易な言葉がいい。

抽象度の高い言葉は肝心のところが脱色していて話が空転してしまうことが多い。

例えば、「主体的」という語がよく使われる。使う人によっては、薔薇色の響きがあって心地のよい言葉だ。

読む人もなんとなく分かった気持ちになってしまう。しかし、それだけでは、子どもたちの姿は見えない。

実際の授業で、子どもたちの主体的な姿を引き出すことは、至難のことで、そんなに易々と使える言葉ではない。

ここまで書いて気が付いた。平易かどうかは、その言葉自体に責任があるわけではないということだ。

権威とか流行に惑わされず、使う人が自分の目でとらえたものをなんとか表現しようという、

妥協しない心が言葉に息を吹き込むのだ。

生きた言葉で授業について考え、語る場が必要である。「算数授業研究」をそういう場にしていきたい。

正木孝昌(1997.創刊号)

## 『定期購読』しませんか？

### 【定期購読者の方への特典】

- ・定期購読者の方だけを対象にした「**限定公開講座**」にご招待します
  - 限定公開講座は無料**です
  - オンライン、または、対面での実施を考えています
  - 内容は、授業公開、協議会、講演等を考えています
- ・1年間で「算数授業研究」が5冊、「算数授業論究」が1冊届きます
- ・別々に購入していただくと980円×6冊で5,880円ですが、東洋館出版社で定期購読をすると、なんと10%OFF !!



←定期購読はこちらのQRコードからお申込みできます

980円×6冊×0.9=5,292円(1年分)

**5,292円で、定期購読していただけます！**

## 仲間を集めて『支部』を作りませんか？

同じ地域のお仲間と定期購読者6人(新規3人以上)が集まると1つの支部を作ることが可能です

### 【支部の特典】

**年1回、算数部員が支部の勉強会にZoomで参加します**



支部設立フォームはこちら

<https://forms.gle/MLB4UzqNGdPZZDQ99>

フォームへの入力はお一人につき1件ずつお願いします  
支部名を共有し、正しく入力してください